

桜川市真壁

伝統的建造物群保存地区



桜川市真壁伝統的建造物群保存地区

- 【名称】 桜川市真壁伝統的建造物群保存地区
- 【所在地】 桜川市真壁町真壁字下宿町、字高上町、
字大和町の全域、並びに字上宿町及び字
仲町の各一部
- 【面積】 約17.6 ha
- 【条例制定】 平成19年6月20日
桜川市伝統的建造物群保存地区保存条例
- 【地区決定】 平成21年9月28日
- 【国選定】 平成22年6月29日
- 【選定基準】 (二)伝統的建造物群及び地割がよく旧態を
保持しているもの
- 【種別】 在郷町

真壁地区の遠景



真壁地区

国史跡 真壁城跡

南の筑波山から見下ろす真壁地区

真壁城跡と真壁地区



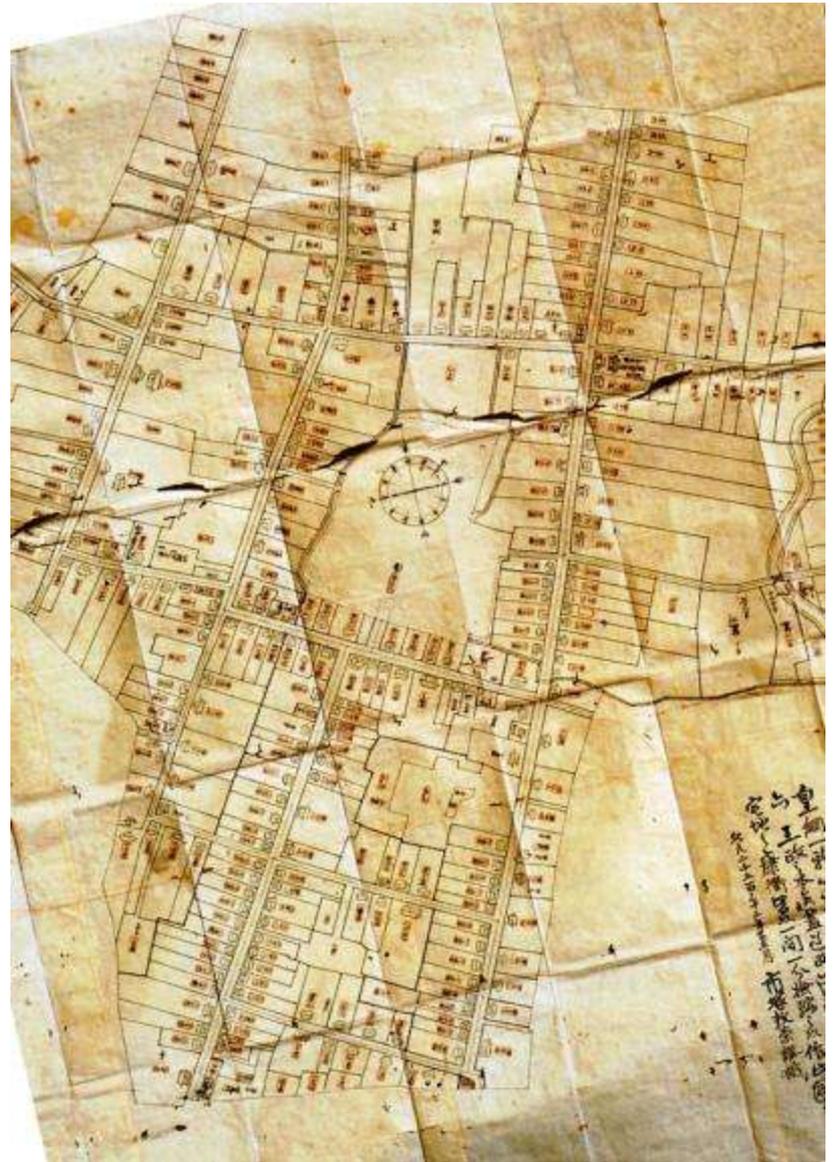
真壁の歴史

西暦	年号	
785	延暦4年	清寧天皇由来という白壁(白髪部)郡が真壁郡と改称される。
1179	治承3	平長幹が真壁郡司として入部、真壁氏の祖となる。
15世紀末～16世紀末		中世の城下町が形成され、城下町地名が史料に散見するようになる。
1602	慶長7年	佐竹氏の移封に伴い、真壁氏が出羽角館へ移る。大半の家臣は真壁に残留する。
1611	慶長16年	浅野長重が真壁藩主となる。真壁城は廃城となり、城下中央に陣屋が設けられる。以後、陣屋町としての整備が行われ、現在の町割りが形作られる。
1615	慶長20年	真壁町屋敷検地 屋敷数461(「真壁町屋敷検地帳」)。隣接地を含め10町を数える。
1622	元和8年	浅野長重の笠間移封に伴い、笠間藩の一部となる。
17世紀～18世紀前期		上方の木綿を東北へ売り捌く木綿市が活況を呈し、商業地真壁の基盤を作る。
1694	元禄7年	家数462軒、人口2,525人(「真壁町差出帳」)。これまでに5町に整理統合される。
1749	寛延2年	町屋村大火。陣屋のほか1,200棟を焼失。(「枝平内日記」)
1837	天保8年	町屋村大火。陣屋のほか300棟を焼失。 以後、陣屋が瓦葺きとなり、商家にも土蔵普請の史料が散見、見世蔵も建設される。
1871	明治4年	陣屋跡地に茨城県真壁支庁ができる。続いて小学校、町役場などの公共用地となる。
明治中期～大正期		木綿に代わり製糸業が発展。銀行設立など資本整備が進み最盛期を迎える。
1918	大正7年	筑波鉄道が開通し、真壁駅ができる。(昭和62年廃線)
1954	昭和29年	町村合併で新真壁町成立。地元石材業の隆盛により石の町としての最盛期に入る。
2005	平成17年	岩瀬町、大和村と合併し桜川市となる。

真壁の地割



江戸時代(「真壁町屋敷絵図」)



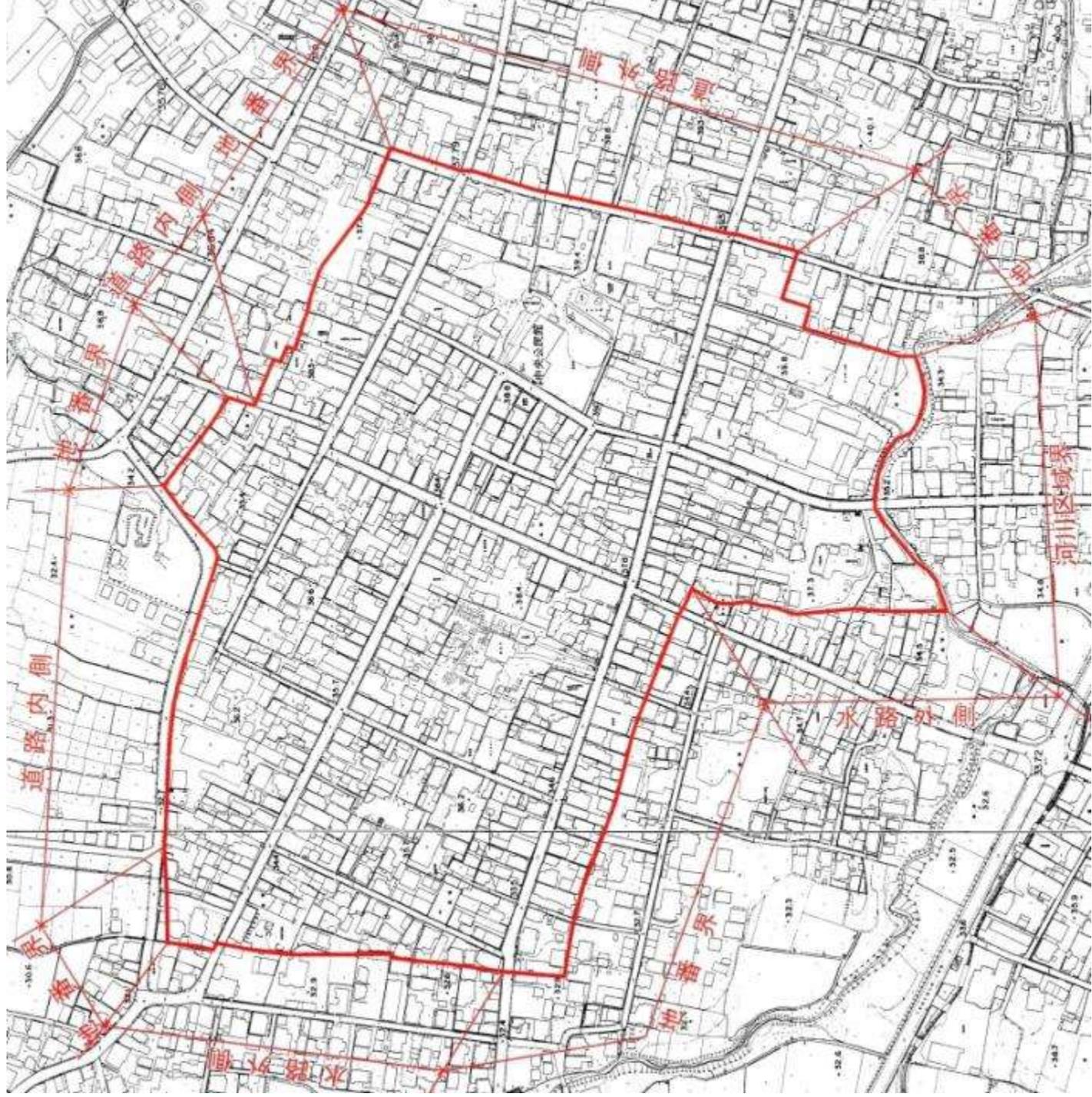
明治時代(「町屋村地租改正図」)



昭和22年(米軍撮影)



平成10年(国土地理院撮影)



伝統的建造物群保存地区の範囲

傳統的建造物と環境物件内訳

傳統的建造物		環境物件
建築物	工作物	
108	57	5

傳統的建造物(建築物)

種別	数
主屋等	63
附属屋	6
土蔵	22
石蔵	4
寺社	1
長屋門	1
薬医門等	11

傳統的建造物(工作物)

種別	数
棟門	1
塀	7
煙突	1
軌道	1
石仏・石塔	46
道路元標	1

環境物件

種別	数
樹木	5



御陣屋前通り南部の景観



御陣屋前通り中部の景観



御陣屋前通り北部の景観

下宿町通り東部の景観



下宿町通り中部の景観



下宿町下がり地区の景観



上宿町通りの景観



見芽通りの景観



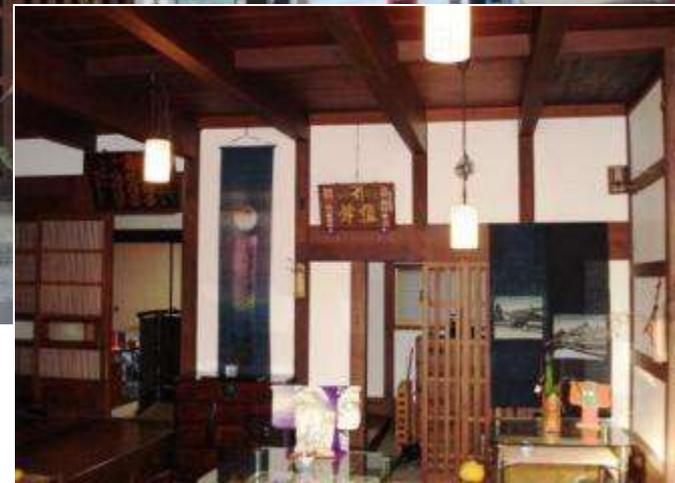
天保年間建設の見世蔵(御陣屋前通り・木村家)



明治末期建設の見世蔵(高上町通り・三輪家)



明治中期建設の真壁造の町家(高上町通り・星野家)





明治末期建設の塗屋(御陣屋前通り・潮田家)



大正時代建設の真壁造の町家(御陣屋前通り・旅籠ふるかわ)

大正時代建設の町家





正面の出桁



側面の出桁

昭和初期建設の真壁造の町家(御陣屋前通り・入江家)



大正時代建設の石蔵(下宿通り・村井醸造旧米蔵)



昭和初期建設の洋風建築(御陣屋前通り・旧眞壁郵便局)



明治・大正時代建設の建造物が建ち並ぶ酒造場(下宿通り・村井醸造)

薬医門に塀を接続させる家
(上宿通り・猪瀬家)



主屋の脇に接続する薬医門
(下宿通り・伊勢屋旅館)



主屋正面に建つ高麗門
(下宿通り・根本家)



通りに面して建つ長屋門
(仲町通り・山中家)

重厚な海鼠壁を持つ土蔵
(高上町通り・土谷家)



敷地の奥に配置される土蔵
(御陣屋前通り・川島家)



重い金物や石材を運搬する軌道
(下宿町通り・石田金物店)

鍵の手の交差点に設置された道路元標
(御陣屋前通り・下宿町通り)





方位十二支の彫刻を備えた不動堂
(天保11年・下宿町通り・密弘寺)

参道に並ぶ真壁石製の石造物
(大和町・神武天皇遙拝所)





参道を彩る石造物群(下宿町・口明塚稻荷)

参道入口の石塔群(下宿町通り・密弘寺)

古木に寄り添う石仏





筑波山を背景に立つカシ(下宿町通り・根本家)



参道正面に立つケヤキ
(下宿町通り・密弘寺)

